

2019年度櫻井賞（第45回）受賞者

受賞者：栗林 貴弘 会員（東北大学理学部）

対象鉱物：日立鉱

Kuribayashi, T., Nagase, T., Nozaki, T., Ishibashi, J., Shimada, K., Shimizu, M., & Momma, K. (2019). Hitachiite, $\text{Pb}_5\text{Bi}_2\text{Te}_2\text{S}_6$, a new mineral from the Hitachi mine, Ibaraki Prefecture, Japan. *Mineralogical Magazine*, 83(5), 733–739.



授賞理由

栗林貴弘会員は、茨城県日立市 日立鉱山の約5.3億年前に形成された含銅硫化鉄鉱床から産出した黄鉄鉱に富む鉱石中に発見された鉛、ビスマス、テルルを主成分とする硫化物の研究において中心的な役割を果たし、新鉱物、日立鉱（IMA 2018-027）として記載した。この業績は、日立鉱が属する鉱物グループの構造的分類やその材料的性質、ビスマスやテルルといったレアメタル元素の挙動の地球化学的考察などを考える上で、非常に興味深い研究資料を提供するものと考えられる。また、栗林会員は、田野畑石（IMA 2007-019）（Nagase et al., 2012）や房総石（IMA2014-023）（論文投稿中）の研究においても共同研究者として重要な物性データの解析をおこなっている。

櫻井賞選考委員会は、これらの貢献も考慮して、栗林貴弘会員を2019年度櫻井賞（第45回）受賞者として推薦するものである。

栗林貴弘会員の略歴

1971年10月30日生まれ。

1995年 3月 東北大学理学部地学科地学第二卒業

1997年 3月 東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了

1998年 4月 東北大学大学院理学研究科博士後期課程中途退学

1998年 5月 国立大学東北大学理学部助手

2004年 4月 国立大学法人東北大学大学院理学研究科助教

2005年 9月 博士（理学）取得 東北大学

2005年 9月 日本鉱物学会 若手研究奨励賞

2007年10月～2008年7月 米国，カーネギー地球物理学研究所，招聘研究者

2017年 4月 国立大学法人東北大学大学院理学研究科准教授

2020年 9月 現在に至る